



地球大学アドバンス 第20回 [2009年度:第4回]

「水の世紀」のリデザイン

2009.7.27 mon

地球は宇宙のなかでも極めて稀な、水が「液体」で存在する星。地球号は「水冷式」の宇宙船であり、水に祝福された宇宙のオアシスです。しかし20世紀の人口爆発や急激な都市化により、私たち人類の水消費もこの百年で7倍に膨れ上がり、21世紀は水が石油以上の稀少資源になるとさえ言われています。

「水の世紀」を水戦争の世紀でなく、水文明をデザインする好機へと転ずるために、鍵となるのが節水技術と雨水利用でしょう。水が足りなくなるなら、水を使わない文明を構築すればいい。農業用水(灌漑)の効率化も重要ですが、一方ですでに地球人口の半分が暮らす都市の水循環を考えると、従来の水の多消費から脱却するまったく新たな都市のライフデザインが求められます。そこでたとえばINAXが先駆的に開発してきた超節水型のトイレ・バスなどが大きなヒントとなるでしょう。

また気候変動で豪雨と干ばつが常態化し、水の確保と治水が世界共通の大きな問題となりつつありますが、その双方に効果的なのが「雨水利用」の技術です。水不足といっても、世界に降る雨は(陸上に降る雨だけでも)人類の水需要の30倍もある。すべてのビルや家屋の屋根が雨を集める「逆さ傘」として天に向かって開いた未来の地球を、世界的な雨水利用の伝道師・村瀬誠氏とともに構想してみたいと思います。

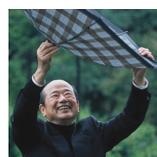
ゲスト: 久留島豊一 (くるとま とよかず)

超寿命、節水、健康、環境という4つの価値を軸に、一つの材料、サービスの情報提供を行う。
1984年岡山大学大学院理学研究科修了、株式会社INAX入社。
1992年基礎研究所技術情報センター長。
1993年長岡技術科学大学大学院博士課程修了(工学博士取得)。
1997年基礎研究所分析センター長。
1999年再生医療ベンチャーJ-TECの立ち上げに参画(出向)。
2002年J-TEC研究開発部長(出向)を経て、2004年INAX環境戦略部長。
現在、INAX総合技術研究所所長、執行役員。



赤池 学 (あかいは まなぶ)

株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所所長
1958年東京都出身。1980年、筑波大学生物学類卒業。
社会システムデザインを行なうシンクタンクを経営し、ユニバーサルデザインに基づく製品、施設、地域開発を手がける。「生命地域主義」「千年持続学」を積極的に提唱し、地域の技術・人材・資源を活かす「ものづくり」プロジェクトの企画、製造業技術、科学哲学分野を中心とした執筆、評論、講演などを行う。また、日本産業デザイン振興会グッドデザイン賞審査委員、キッズデザイン協議会キッズデザイン賞審査委員長等も務める。著書に「昆虫力」(小学館)、「自然に学ぶものづくり」(東洋経済新報社)、他多数。



村瀬 誠 (むらせまこと)

東邦大学薬学部客員教授、京都大学防災研究所非常勤講師
薬学博士、NPO法人雨水市民の会事務局長、国際水協会(IWA)SPG副座長
1982年 雨水利用のプロジェクトを開始
1994年及び2005年:雨水利用東京国際会議実行委員会事務局長
2000年バンガラテッシュでスカイウォータープロジェクト開始
2002年「革命的雨水利用」でロレックス賞受賞

© Rolex Awards

2007年 「未来を変える世界の人々80人(フランス)」に選ばれる
主な著書に『環境シグナル』、『やってみよう雨水利用』(いずれも北斗出版)、『都市の水循環』(NHKブックス)、『雨を活かす』(岩波アクティブ新書)など多数。未来派宣言(NHKテレビ)、素敵な宇宙船地球号(テレビ朝日)、夢の扉(TBSテレビ)などのテレビ出演をはじめ、国連環境計画、ストックホルム水シンポジウムなど国内外講演多数。

モデレーター: 竹村真一

京都造形芸術大学教授、Earth Literacy Program代表。東京大学大学院文化人類学博士課程修了。地球時代の人間学を考究しつつ、ITを活用した独自の地球環境問題への取り組みを進める。Sensorium(97年アルス・エレクトロニカ・グランプリ受賞)、デジタル地球儀「触れる地球」(05年グッドデザイン賞・金賞)や「100万人のキャンドルナイト」「aqua scape」など、さまざまなプロジェクトを推進。環境セミナー「地球大学」主宰。07年「water」展ではコンセプト・スーパーバイザーとして企画制作に携わる。08年7月の北海道・洞爺湖サミットでは、国際メディアセンター(IMC)内の環境ショーケースにおける「地球茶室」の総合企画・プロデュースを担当。新著「地球の目線」(PHP新書)など著書多数。2009年4月26日よりラジオ「GLOBAL SENSOR」がJ-WAVE 81.3にて(偶数月の第4日曜25時〜)放送開始。

竹村真一プロジェクトサイト: <http://www.ejpor.jp/>

開催概要

日時: 2009年7月27日(月) 18:30~21:00

ゲスト: 久留島豊一氏(INAX総合技術研究所 所長)

村瀬誠氏(東邦大学薬学部客員教授 京都大学防災研究所非常勤講師)

赤池学氏(株式会社ユニバーサルデザイン総合研究所 所長)

企画・司会: 竹村 真一 氏

Earth Literacy Program 代表

エコツェリア・コンテンツプロデューサー

会場: 新丸ビル10階「エコツェリア」

地図: <http://ecozzeria.jp/access.html>

定員: 50名(定員になり次第締め切りとさせていただきます)

参加方法: 事前登録が必要です 事前登録URL: <http://earth.ecozzeria.jp/>

参加費: エコツェリア会員企業に所属の方: 無料

*名刺にて照会いたします。名刺(社員証)を必ずご持参下さい。

エコツェリア会員企業非所属の方: 有料2,000円

*新型インフルエンザの発生状況により、急遽イベントを中止することがございます。状況に応じて、参加申し込みの方には、お知らせいたします。

プログラム

18:00 受付開始/18:30 開演/20:30 サロントーク(懇親会)/21:00 閉会